

# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	日立金属株式会社	事業所名	桶川工場				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	積載量、輸送距離を元に算出し、年1回社内の環境マネジメントシステムにて実績を報告。 前年度からの変動が大きい場合は、原因・対策を検討している。			○	○	○
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	製品種、輸送先の異なる複数種の製品を可能な限り混載し、輸送費の低減を図っている。 混載率については目標値を設定し、月1回実績を評価している。			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	対象業者には必要に応じ依頼し、提出状況を確認している。			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	新規取引先の選定時にISO14001等の取得状況を確認			○	○	○
03	物流拠点の活用による輸配送の効率化 ( )	基本的に受注生産のため出荷の拠点は桶川工場から直接出荷。 配送は社内外注より振り分けを実施している。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	梱包荷姿を各々の製品仕様で定める際、梱包形状、重量にも配慮している。			○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上による輸配送の効率化 ----- ( 02 ) 混載便の利用や共同輸配送の取組	主要な配送先については極力混載化を図り、配送効率を向上している。	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 ----- ( 03 ) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	出荷量、輸送距離に応じて車種を選定。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- ( 01 ) 発注時間及び配送時間のルール化	定時内の発送を徹底している。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- ( 02 ) 道路混雑時の輸配送の見直し	道路情報収集やETCによる渋滞情報を活用することで、効率よい輸配送経路へ迂回する。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- ( 03 ) 輸送車両の待ち時間の削減	社内の輸送・梱包外注を活用し、梱包～発送までを効率よく実施している。	○	○	○
06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 ----- ( )	混載化については、環境目標として設定し、取り組み状況を把握できるようにしている。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- ( 01 ) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請	車両更新時など低燃費車の導入を検討するよう要請している。	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ( 02 ) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	アイドリングストップの徹底等につき要請している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ( 03 ) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施	輸送業者の車種・積載量・輸送距離を把握し、毎月輸送状況を確認している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ( 04 ) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	工場内の積込場所、駐車スペースを確保。	○	○	○
08 サードパーティーロジスティクスの活用 ( )	輸送は、工場内に常駐する外注業者に委託し、社内生産管理部と連携して輸送業務を実施。	○	○	○

## 《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	日立金属株式会社	事業所名	桶川工場	R3	R4	R5	
取組措置		具体的取組措置					
02 公共交通機関への転換の推進 ( 01 ) 公共交通機関利用促進のための情報提供		必要に応じ事務所等にバス時刻表を掲示			○	○	○
02 公共交通機関への転換の推進 ( 02 ) 送迎バス等の運行		1日8往復運行			○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

02 公共交通機関への転換の推進 ----- (03) 公共交通機関利用者への優遇策	通勤手当は、公共交通機関を利用した場合は、全額支給。自転車は、距離計算の支給。	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- (01) 自転車の安全利用の促進	年1回、地元警察による交通安全講習を実施	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	屋根付きの駐輪場を北門、南門付近に設置	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- (03) 駐輪場以外の自転車通勤者向け設備の設置・維持管理	守衛所にて空気入れを貸し出し	○	○	○
04 その他マイカー通勤を削減するための取組 ----- (04) テレワーク制度の導入	事務間接部門等で一部導入	○	○	○
05 エコドライブの推進 ----- (01) エコドライブの啓発	年1回の交通安全講習会等を通じ、エコドライブを含めた運転時の注意事項を啓発・教育している。	○	○	○
05 エコドライブの推進 ----- (02) エコドライブ研修の実施	年1回、交通安全講習会を受講	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

07 時差通勤の実施 ( )	一部職場でフレックス勤務を実施	○	○	○
-------------------	-----------------	---	---	---

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	日立金属株式会社	事業所名	熊谷地区事業所				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ( 02 ) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	環境に配慮する事業者として、安全運転、運行を前提に選択する。 主だった弊社認定の輸送業者は、ISO14001取得されている。			○	○	○	
04 積載率の向上による輸配送の効率化 ( 01 ) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	積載効率を考えた荷姿設定の継続 当社にて標準荷姿によるトラック等への積載徹底			○	○	○	
04 積載率の向上による輸配送の効率化 ( 02 ) 混載便の利用や共同輸配送の取組	少量時は路線便の混載活用継続 磁材工場全体での配車計画			○	○	○	
04 積載率の向上による輸配送の効率化 ( 03 ) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	大型車両(フルトレーラー活用)にて効率輸送 配車計画の際での重量珪酸実施			○	○	○	
06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 ( )	出荷計画に基づく計画的な生産・出荷・積載効率向上を図る 磁材工場製品全体での配車及び纏め出荷計画の立案・実践			○	○	○	

# 自動車地球温暖化対策実施方針

07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	場内トラック停車位置の明確化と徹底	○	○	○
---	-------------------	---	---	---

## 《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	日立金属株式会社	事業所名	熊谷地区事業所				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
02 公共交通機関への転換の推進 (01) 公共交通機関利用促進のための情報提供	最寄り駅のJR籠原駅から工場間の送迎バス運行時刻表を事業所のイントラ掲示板に表示し、利用促進を図っていく。			○	○	○	
02 公共交通機関への転換の推進 (02) 送迎バス等の運行	最寄駅からの送迎バスの運行を継続する。			○	○	○	
02 公共交通機関への転換の推進 (03) 公共交通機関利用者への優遇策	遠距離通勤者など会社が認めた場合、新幹線又は特急列車の利用(一部個人負担あり)を認めている。			○	○	○	
03 自転車への転換の推進 (01) 自転車の安全利用の促進	自転車通勤登録申請者に傷害保険加入を義務付け、安全意識を高めている。 交通安全に関する講習会開催時に、自転車の安全運転に関する内容を盛り込んでいく。			○	○	○	
03 自転車への転換の推進 (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	駐輪場の利用者を把握し増改築を実施してきた。引き続き、利用者の安全確保と事故防止のため、駐輪場内を舗装(砂利→アスファルト)していく。			○	○	○	

## 自動車地球温暖化対策実施方針

03 自転車への転換の推進	既存の駐輪場付近の通路路面を整備	○	○	○
( 03 ) 駐輪場以外の自転車通勤者向け設備の設置・維持管理				
04 その他マイカー通勤を削減するための取組	在宅業務が可能な全ての職種に在宅勤務を拡大している。	○	○	○
( 04 ) テレワーク制度の導入				
05 エコドライブの推進	場内でのアイドリングストップを徹底していく。	○	○	○
( 01 ) エコドライブの啓発				
06 従業員の通勤車両に関する低燃費車利用促進	場内の車両展示会開催時に低燃費車導入を情宣していく。	○	○	○
( 01 ) 低燃費車の購入支援等				
07 時差通勤の実施	フレックス勤務や裁量労働制度を用いて、出退勤時間を各自で決められ時差出勤しやすい環境を整えている。	○	○	○
( )				